

「図書館機能を中心とした現状と更なる活用に係る申入書」回答

1. 図書館本来の機能

- ① 読書推進活動において、子どもたちが図書館に関心が持てる工夫やイベントが評価されている事例があり、学校図書館司書との連携を強化し、更なる充実・発展をお願いしたい。
- ② 子どもたちの読書への取組強化において、司書の意見を取り入れながら、「わくわく、どきどき」する読書サークル活動を推進されたい。
- ③ 図書館に行きたいと思わせる企画の強化において、当市の街道文化／和菓子／モノづくり等に関する組織や人物等との積極的な情報交換により企画展示をお願いしたい。加えて市民や市外の方が魅力を再発見できる情報発信（SNS等）を強化されたい。

【回答】

近年の少子高齢化、生活スタイルの変化、多様化などにより、公立図書館に求められる機能も、年々多様化、高度化が加速しております。また、子どもたちを取り巻く情報環境も、スマートフォンの普及や、それを活用したSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）等コミュニケーションツールの多様化等、大きな変化を見せており、これらは子どもの読書環境にも大きな影響を与えている可能性があります。

これまで、図書館が行ってきました、資料及び情報の収集、整理、提供、保存に加え、地域や学校、関係部署との連携を強化し、子どもから大人まで、幅広く教育的、文化的支援を行い、積極的な情報発信に努めます。

項目ごとの内容は次のとおりです。

- ① 学校図書館司書との活発な情報交換を行い、当館の特徴でもある「学校配本」「団体貸出」用図書の内容の充実を図り、より積極的な活用を促進します。また、図書館の図書や資料を通じて子どもの感性を育み、図書館に関心が持てるよう、学校図書室での図書館司書のおすすめ本の展示など、学校の要望や希望をうかがいながら提案、支援をしていきます。
- ② 文教民生委員会の先進都市行政視察における他自治体の先進的事例などを参考に、中津川市版の「子どもの読書サークル」活動について、どのように展開できるか検討して参ります。

- ③ 旧図書館では、郷土資料室で収蔵、閲覧していた郷土や地域に関する資料が、現在は気軽に閲覧できるよう配置されており、館内の柱展示を利用しながら、郷土に関する情報をわかりやすく、また興味をもってもらえるよう展示し、積極的に発信しております。また、ひと・まちテラス1階の展示コーナーや観光スペースに関連した図書や資料を配置し、ひと・まちテラスに訪れた方にも図書館へ足を運んでいただけるような取組みも行っております。

今後も、当市の特徴ある「人、モノ、文化」をより多くの方に認知していただけるよう、引き続き関連する資料の収集と整理、保存に注力し、その利活用について、関係団体や関連部署など外部の方のご意見も取り入れながら、積極的に行ってまいります。

また、情報発信については、従来の広報なかつがわ、季刊図書館だより、市ホームページに加え、ひと・まちテラスが運用しているinstagramを最大限に活用しながら、市内外に向け、時期を逃さず発信してまいります。

2. 居心地・おもてなし

- ① 図書館ルールの緩和において、管理する側と利用する側の両側に配慮し、複合施設のメリットを関係所管部と連携を強化し、最大限発揮できるように活動願いたい。
- ② 高齢者の居心地の充実について、季節や分野ごとにタイムリーなイベントを企画されたい。

【回答】

「子育て」、「交流」、「学び」、「観光」の機能を有するひと・まちテラスのメリットは、子どもから高齢者まで幅広い世代が、気軽に集い、学び、交流できることにあります。その中に存在する図書館として、にぎやかさと静寂さのバランスを大切にし、誰もが居心地のよい環境、雰囲気づくりに努めます。

項目ごとの内容は次のとおりです。

- ① 1階への図書館資料の自由な持ち出しなど、施設の管理上緩和が困難な事項もありますが、4つの機能に関連する各所管部と連携、情報交換を行い、様々な相乗効果が生まれるよう、各機能での図書館資料の活用等を企画検討し、連携した活動を進めます。
- ② 現在も、大人向け、世代を問わず参加できるイベント・講座として、「閉館後の音楽会」や「手帳づくり」などを開催しています。参加者のアンケートや市民の皆様からのご意見、ご要望を伺いながら、高齢者も気兼ねなく、いきいきと様々な活動に参加できるよう、企画、参加促進に努めます。

3. 協力

- ① 中津川市固有の特色ある魅力（例：菓子／木材／石材／農畜産物／街道／鉄道／モノづくり等）を活かすことについて、司書の意見を取り入れながら、郷土に関する資料や情報の収集・整理・保存をひきつづき推進願いたい。

【回答】

郷土資料の収集、整理、保存については、図書館の重要な機能のひとつとして、従来より、司書を中心に重点をおいて取り組んでいます。

今後も、資料にとどまらず、各分野に精通した組織や人材との情報交換や連携をすることで、より多角的に資料や情報の収集、整理、保存に努めます。

- ① 中津川市の特色ある資源については、蛭川済美図書館では「石」、加子母公民館図書室では「林業」、付知公民館図書室では「熊谷守一」など、地区ごとにも特色をもった資料の収集、整理、保存を行っています。引き続き、中津川市全体で郷土に関する資料の充実に努め、その特色、魅力を発信していきます。